

令和5年度 自治会連合会と地域市民の集い（四谷文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日時 令和5年12月10日（日）午前10時～12時
2. 場所 四谷文化センター 講堂
3. 出席者 15名
4. 書記 松木紀美子
5. 会議の概要 【司会進行：棕田事務局長】

（1）会長挨拶 志水会長

（2）府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、山岡、筒井、棕田、林田、川辺、福田、谷本、松木（9名）

四谷文化センター圏域：府中市四谷自治会、四谷西部自治会、デュオヒルズ府中多摩川自治会、アルシス・フロンターナ自治会、四谷第一住宅自治会（5 団体：6名）

（3）府中市自治会連合会・自治会についての説明（棕田）自治会活動ハンドブックを使って

（4）五部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

市の協働推進部と連携し、様々な課題を解決している。市民協働まつりへ出展を通じても実施している

・生活安全対策部（林田）

・防災力アップには、顔の見える関係づくりが大切。無線機を中心としたリアルな情報の集約や発信の仕組みを進めている。まずは平時から、楽しみながら実施してほしい。

・環境対策部（川辺）

・環境対策のための剣友会を実施している。また、資源循環型のリユースショック貸出事業が市でスタートしているので利用してほしい。ほかには空き家対策について市の委員会で取り組んでいるが、法律の壁が大きく進んでいない。

・福祉対策部（松木）

福祉まつりのご報告。

・デジタル化対策部会（福田）

自治連としての取り組みを検討してきた。他市は地域情報化において町が動いていないが、府中市は自治会活動がしっかりしているので進められると思っている。デジタル化の活動は、町会・自治会のネガティブなイメージを阿多くして、若い人とのつながりを作るためのものだと思う。今回、自治連ニュースで取り組みたい町会・自治会を募集している。ポイントはコミュニケーションをとることが楽しいというところから始まる。

・助成金（谷本）で

○関東大震災100年助成金（30万円まで）30件あまり代理申請済み。地域の底力助成金も2件対応している。その他都以外の助成金などもあるので相談してほしい。

（5）懇談会

①1700世帯で地域も広い。そのため、役員14人が月1回集まり回覧の準備・配布と年1回の日赤の集金ぐらいしかできない。自治会活動ハンドブックを活用して、自治会として何をしたらよいかを集まって話す予定。他の自治会の活動例を紹介してやんわりと話していきたい。

②1, 3, 5, 7, 9, 12月の第一日曜日に班長・役員が集まって会議している。イベントはセンターまつりと9月の地域のお祭りに参加。一般の会員との交流があまりない。自治会に誘っているが自治会が何をやっているか伝えられていない。会員は増えている。

③180世帯で11年目、自治会は建ってから5年後にできた。3月に防災グッズの配布をしている。

④97世帯、主に四谷5丁目になる。

⑤100世帯ある。最近新しい建売が増えているが、加入は半分。役員は10名で1年交代。現役のメンバーもいるが活動が難しい。1年交代だとコミ協のイベントなどわからないことが多いのが課題。また、高齢者が、

役員が回ってくることで退会してしまうこと、一人暮らしの高齢者の見守りがこれからの課題と思う。子供が増えているのでそこからつながりを作っていけたらと考えている。

・自治連：マンションと戸建てでは課題が異なると思う。Line のオープンチャットを使用して会員内の情報共有が上手くいくこともある。

・高齢者の見守りをシニアクラブとタイアップしている例もある。

Q（自治連）：女性の役員はどれくらいいるか？

A：デュオヒルズは3人いる。四谷自治会はゼロ。○

・自治連：災害時対応として、袋調理を始めたら、女性が参加しだした例がある。自主芒でも女性や中学生の力を活用しようというところが出てきている。

Q：役員の活動はボランティアだが、交通費その他の経費は、払っているところはあるのか？

A：報酬はそれぞれで、出しているところもあるが、年にいくら問形で出しているところが多い。

・町内の公園清掃で年間39万円もらっておりそこから一人当たり3万円／年を配布している。

・1万円／一人1年で10人くらいに支払い。

・自治連：女性や現役の人材を発掘することが大切。魅力ある活動（シミュレーション花火やドローンの空撮など）をすることがそれにつながる。加入は義務と考えない。

・自治会内のサークル活動は場所（自治会館等）があれば可能では。

Q：デジタル化とはどんなことなのか、できることは何なのか？

A：まずは役員間のやり取りをデジタル化する。Line の活用→役員会を減らす。

Line も無料の枠が2000通までとなっているが、ブログも活用してつなぐとよいのでは。

タブレットもすぐにはできるようにならない。浸透するため5回講習会を実施した。高齢者には無理強いしない。

□レンタルウォーターサーバーの補助金事業について説明

(6) 閉会挨拶